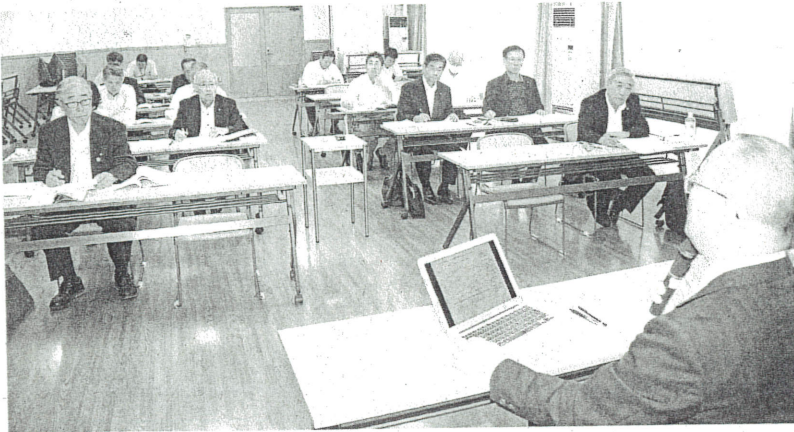


9/29 長野日報

人口減少対策 提言に向け研修

町議会



箕輪町議会（木村英雄議長）は26日、議会運営や政策提言をテーマにした研修会を地域交流センターみわで開いた。町議員全14人と宮田村議会の2議員が出席。今年3月に議会内に新設した「地方

創生・人口減少対策等特別委員会」に伴う具体的な取り組み。田口一博新潟県立大准教授を講師に、来年10月に予定している政策提言に向け、留意点などを学んだ。

特別委員会は、人口減少に対し「行政だけに任せるのでは

実効性の高いものにしようと、専門家の助言を受けた。田口准教授は、町議会がまとめた人口減少要因の分析を基に講演。1980年以降の人口の推移・推計や、年齢階級別人口移動、男女別人口の推移など10項目それぞれについて助言した。

なく、議会も本気で取り組む必要がある」（木村議長）と政策提言することを前提に今年3月14日付で設置。来年10月に予定する提言に向け、6月から人口減少要因を分析。このほど概要がまとまったため、提言をより

人口減少対策について、田口准教授は「どんな人に来てほしいか、受け入れ側の意図をきちんと示して定住してもらうべき」と、数字だけでなく、迎える側の認識の大切さを強調。転出者超過を食い止める手法の一つとしては「これから都会に行こうとする中高生対象に、東京箕輪会などの会員から都会での生活実態など直接聞くことも必要」などとアドバイス。具体的な政策提言に向けては「夢や希望が持てる要素は含みつつも、現実的な分析・研究による裏づけの確かな提言に仕上げたい」と呼び掛けた。

木村議長は「問題点の共有

や、町民の声が非常に重要なことを再認識できた。これらを生かし、堅実な政策提言につなげたい」と話していた。

町議会では、政策提言の材料として10月26日、内閣府を訪ね、来年度国の政策方針について学習するという。